全てのエリアで安心して利用できる車椅子使用者の観戦環境

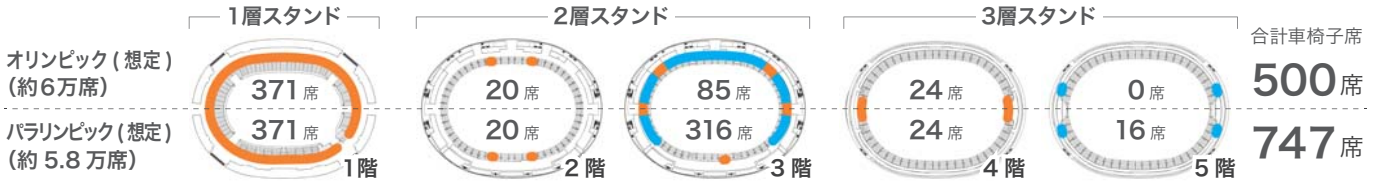
スタンドの全層・全階に車椅子席を分散させています。特に利用頻度の高い 1 層スタンドに、外部から段差なくアクセスできる車椅子席を多く配置し、客席からの見やすさや快適性を確保した、感動を分かち合える観戦環境を整備しています。さらに、様々な使い勝手に配慮したトイレを用意し、全ての人が快適に利用できる環境を整備しています。



2層スタンド(3階) 車椅子席

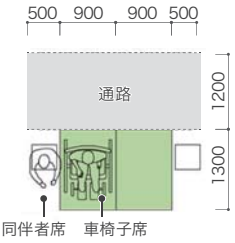
全てのエリアで車椅子使用者が観戦できるスタジアム

全ての層にバランスよく車椅子席を計画 (5 階はパラリンピック大会開催時のみ / 席数は設計時のものを示す)



同伴者に配慮した車椅子席

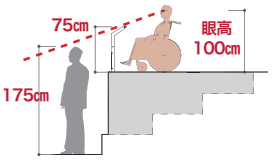
- 同伴者席によって車椅子席が分断されず、2席が隣り合う座席配置としています。
- 車椅子席及び同伴者席は、各コンコースから段差なくアクセスできる場所に設置しています。
- 観戦中に充電可能な電動車椅子等のためのコンセントを整備しています。



基本的なスペースの考え方

車椅子席のサイトライン

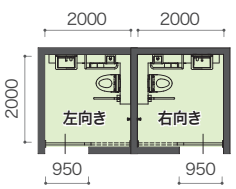
- 眼高の低い車椅子使用者のサイトラインを確保するために、眼高 100cm を標準としています。
- 前列の人の身長 175cm を想定し、前列席の人が立ち上がった状態でも、車椅子席の視界を妨げない計画とし、一般席と同じ感動を味わえる観戦環境を整備しています。



車椅子席からのサイトライン

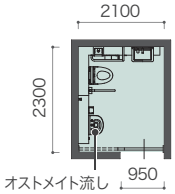
様々な利用者を想定した5タイプのアクセシブルトイレを設置 (以下は代表的な寸法)

❶ 使う向きに配慮した車椅子用トイレ



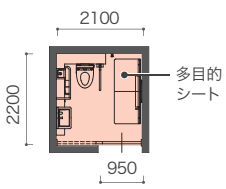
2室以上併設される場合は、様々な使い方に配慮し対称レイアウトのトイレを隣接させ、設置しています。

❷ オストメイト対応車椅子用トイレ



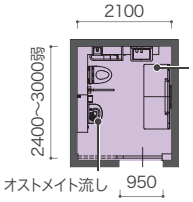
オストメイトを搭載した車椅子使用者用トイレを設置しています。

❸ 多目的シート対応車椅子用トイレ



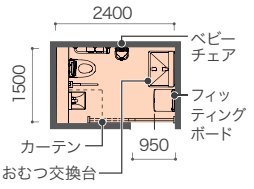
多目的シートを搭載した車椅子使用者用トイレを設置しています。

❹ 多目的シート・オストメイト付車椅子用トイレ



オストメイトと多目的シートを搭載した車椅子及びストレッチャー使用者用トイレを設置しています。

❺ 男女共用トイレ



LGBT※及び発達障害者等の異性の付添者を含め男女別トイレが利用しにくい方のトイレを設置しています。

※ LGBT:レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字で性的少数者を意味する。

Copyright © 大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体